



週報

Rotary
OITA JOSAI, 2720



会長：村上智貴
幹事：伊藤秀海

国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ
第2720地区ガバナー
堀川 貴史
大分第4Gガバナー補佐
藤田 千克由



IMAGINE
ROTARY

大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン「ロータリーを日常に」

地区スローガン

ロータリーはつながりで溢れている
～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

2022-2023 第41回例会

5月10日 No.1520

青少年奉仕月間

◆ 本日のプログラム

12:30 点 鐘

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト・ビジターの紹介 村上 智貴 会長

会長の時間 村上 智貴 会長

出席報告及び幹事報告 伊藤 秀海 幹事

ロータリー情報 R情報担当委員

委員会報告 各 委 員 会

スマイルボックス 親 睦 担 当

13:00 クラブ協議会「今年度を振り返って」

◆ 今週のお祝い

● 創立記念日 中山省悟会員 5月15日 (12年)

(株)ホームリンク

● 結婚記念日 中山省悟会員 5月14日 (18年)

● 会員誕生日 中山省悟会員 5月15日

◆ 委員会報告 佐藤 憲幸 会員

● 大分第4グループI M開催のご案内

日 時：5/27(土) 14:00～16:00

場 所：平和市民公園能楽堂

テーマ：「インターアクトで平和について語ろう」

◆ 今後の例会予定

● 5月17日(水) ゲスト卓話 荒金 真理子 様

(大分県循環社会推進課参事)

● 5月24日(水) クラブ協議会

「次年度奉仕計画の協議」

● 5月31日(水) ゲスト卓話 西嶋 しのぶ 様

(FM大分パーソナリティー)

● 6月 7日(水) 青少年奉仕部門出前セミナー

● 6月14日(水) クラブ協議会

「次年度奉仕計画の発表」

◆ ゲスト・ビジターの紹介 (4月26日)

● ゲスト

姫野 由香 様

(大分大学理工学部創生工学科建築学コース准教授)

アマルジャルガル アナーさん (米山奨学生)

● 職業奉仕スピーチ (5/17)寺崎 (6/7)芳崎

会長の時間 (4月26日)

会長 村上 智貴

物事の見方・捉え方についてお話しします。

医療では薬を使う、手術や処置をする、2類を5類にするなど、全ての選択肢にメリットとデメリットがあり、その内容を吟味して選択していきます。手術のようにほぼ方向性が決まっている時でも、インフォームドコンセントと呼ばれて、説明と同意という日本語で言われる「納得」を得て決めていくことが望ましいとされています。ただ、患者さんの価値観によって判断が変わることはよくあることで、入院の時間やお金がかかるから手術を受けずに薬だけというような選択肢をすることも間違いではないと思っています。先生によって方針が異なるのも信念で、私は割と柔軟に希望に沿うようにしています。

自分がいろんな方向から考えるクセは、子供の時に見たアニメがきっかけです。

フランダースの犬とか母をたずねて三千里など世界名作劇場と呼ばれていた番組の一つで、ポリアンナ物語という作品のテーマである「良かった探し」が私の原点の一つです。アメリカ西部開拓時代に、牧師の両親が病気で亡くなり孤児となった10歳のポリアンナという少女が貧しさと不幸に負けず、どんなことが起きてもその中からポジティブなことを探し出して明るく振る舞う、父親の教えである「良かった探し」というゲームを繰り返すことで、自分の置かれた状況を受け入れて生きるための勇気を出すお話です。その結果、周りの人たちにも良い影響が広がって、最後は幸せに近づいていく方向でした。

この「良かった探し」の考え方、中学生だった自分にとって物事を常に多面的に捉えるきっかけになりました。こうであって欲しいとかこうあるべきとか、一つの価値観での望みがある人には絶望的という言葉につながるのですが、気持ちの切り替え次第で心が穏やかになります。どんな辛そうな状況でも、自分ではない誰かがそれを良いことと思える切り口があり、マイナスだけではないことがあちこちにありました。

とっても良い考え方だと思っていたのですが、これにも多面性がありました。大人になってインターネット時代になってポリアンナを調べるきっかけがあったのですが、そこには「ポリアンナ症候群」とい

出席報告	4月26日					4月9日			
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター	会員総数	出席率	補填数	修正出席率
	34名	26名	78.79%	2名	0名	34名	75.00%	1名	78.13%

5月 佐藤 憲幸
6月 岩尾 隆志

直面した問題に含まれる微細な良い面だけを見て大きな負の側面から目を逸らすことにより、現実逃避的な自己満足に陥る心的症状のこととされていました。楽天主義のマイナス面で、現実逃避の一種で、向上心の低い状況になりやすいネガティブなものとされていました。これを良いものに変えるためには、向上心に留意して良かった探せばいいのかな、と気持ちは切り替えているのも楽天主義かもしれません。

幹事報告 幹事 伊藤 秀海

- 第12回理事会（臨時）議事録（2023年4月26日）

IM登録料として会員一人1,000円を徴収することについて承認された。

後藤正直会員の退会について承認された
退会届提出日：4月25日 / 退会日 4月27日

職業奉仕スピーチ 眞上 晋 会員

- 経 理 ・ 月謝等
・ 経費
- 教材整備 ・ 日々の授業で使う教材
・ 本の出版 新たな本の出版を計画中
・ 新たなテストシステムの開発
- 広 報 ・ ブログ → SNSでの発信
・ ホームページ

- 日々の授業で教える以外の仕事として、『リトルアメリカ教育センター』を多くの人に知ってもらうこと、勉強に悩み、戸惑っている子どもたち、生徒たちに、志をもって勉強に打ち込める環境を整えること。

そして、『結果を出せる勉強』の方法を伝え、頑張ることができる人間に成長してもらうこと。さらには、その後の人生でも、その力を武器に、前を向いて挑戦し続けていける。そんな生徒を育てていきたいと思って仕事をしています。

卓話の時間

一建築・都市計画技術を応用した持続可能な地域再生一

大分大学理工学部創生工学科建築学コース
准教授 姫野 由香

大分県内を中心に、少子高齢化社会を迎えた地方都市の「地域再生」をテーマに話を進めました。大分県内には、人口48万人の中核市である大分市をはじめとする「都市やまち」から、1800名の村である離島地域まで、多様な地域が存在しています。

「都市やまち」では、ネットショッピングや郊外型のショッピングセンターなどの台頭等による中心部の衰退や、「田園地域や離島」では、空き家の増加や担い手不足など、それぞれに課題を抱えており、「地域再生」は一筋縄では進められない状況です。

そこで、当研究室では少人数社会なりの生き抜き方があるのではないかと、そのお手伝いを建築や都市計画の技術を応用してできるのではないかと考え、「地域診断＋研究＋必要な処方」の実践により、地域課題の改善に向けた活動を進めています。①地域にあった豊かな暮らしがあること、②くらす人の誇りを支える仕組みやルールがあることを実現するために行ってきた活動の一部（大分市・杵築市）をご紹介します。

大分市では、新たな魅力を創造する公共空間の利活用に関する調査や研究プロジェクトをご紹介しました。具体的には「大分市祝祭の広場」が広場として整備されるまでの研究について、これまで、だれも利用をしたことがなかった公共空間である公共下水道の利活用社会実験「ろじのさき」を通してみてきた届出制度の課題などについて、説明いたしました。

小さな城下町の杵築市では、空き家の分布や発生のメカニズム分析、住民と来訪者の行動奇跡調査などから、どこでどのような取り組みが必要なのかを検討し、実践した調査研究事業のご紹介をいたしました。その後、地域では、さみしかった空き地にまちづくり会社の建物が新設されたり、空き家が改修されてキッチン付きのシェアスペースとして地域コミュニティの拠点施設となったりしている事例をご紹介しました。